

磁性・スピンと超伝導が織りなす 新物理現象とデバイス応用

2023年9月22日（金）13:30～ ハイブリッド予定

一般にはスピン・磁性と超伝導は共存しにくい関係にあります。しかし、最近はこちらの共存を積極的に生み出すことによる新しい物理現象の発見やデバイス応用への試みが精力的に行われています。本シンポジウムではスピン・磁性と超伝導体の協奏について分野を牽引されている先生方にご講演いただき、最近の進展および今後の展望について議論します。

招待講演者

- ◆ 小野輝男（京大）
「超伝導ダイオード効果」
- ◆ 新見康洋（阪大）
「Bi/Ni超伝導リングにおける半整数磁束量子シフトの観測」
- ◆ 小森祥央（名古屋大）
超伝導体/強磁性体界面におけるスピン三重項近接効果と超伝導交換結合
- ◆ 中野匡規（東大）
極性イジング超伝導体の創発超伝導スピン物性
- ◆ Le Duc Anh（東大）
超伝導スピントロニクスに向けた強磁性半導体量子材料構造の結晶成長及び新規物性
- ◆ 山下太郎（東北大）
超伝導スピントロニクス技術による磁束型超伝導量子ビットの拡張性向上
- ◆ 齊藤志郎（NTT基礎研）
超伝導磁束量子ビットを用いた電子スピン検出